

# 2020年3月期 第1四半期決算の概要

2019年8月7日



## 興銀リース株式会社

本資料には現時点で入手している情報に基づき当社が判断した将来の予測数値が含まれておりますが、一定のリスクや不確実性が含まれており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。将来に関する事項については様々な要因により変動することがありますので、ご留意下さい。

- ✓ 差引利益は前年同期比+21億円増加し、145億円を計上  
— 四半期ベースで過去最高の実績
- ✓ 各段階利益は、通期予想に対して順調に進捗

(単位：億円)

	17年度 1Q	18年度 1Q	19年度 1Q	増減額	増減率	19年度 通期予想*	進捗率
売上高	942	854	<b>1,432</b>	+578	+68%	4,500	<b>32%</b>
差引利益	112	124	<b>145</b>	+21	+17%	—	—
営業利益	47	55	<b>55</b>	+0	+0%	242	<b>23%</b>
経常利益	50	65	<b>58</b>	▲7	▲10%	253	<b>23%</b>
親会社株主に帰属する 四半期純利益	34	42	<b>41</b>	▲1	▲2%	170	<b>24%</b>

\*2019年5月14日公表

# ● 決算概要

(単位：億円)

	17年度 1Q	18年度 1Q	19年度 1Q	増減額	増減率
売上高	942	854	<b>1,432</b>	+578	+68%
差引利益	112	124	<b>145</b>	+21	+17%
(資金原価)	(17)	(20)	(26)	+6	+28%
売上総利益	95	104	<b>119</b>	+15	+15%
(信用コスト)	(▲2)	(▲5)	(2)	+7	—
営業利益	47	55	<b>55</b>	+0	+0%
経常利益	50	65	<b>58</b>	▲7	▲10%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	34	42	<b>41</b>	▲1	▲2%

## POINT

■ 不動産ブリッジ案件の満了に伴う  
物件売却が重なったことが要因

■ 差引利益は順調に増加

■ 外貨借入の増加によるもの

■ 少額の引当が発生

■ 前年同期に営業外収益で投資収益  
が発生

	18/3末	19/3末	19/6末	増減額	増減率
営業資産残高	16,830	20,214	<b>20,188</b>	▲26	▲0%
純資産	1,546	1,822	<b>1,849</b>	+27	+1%
自己資本比率	8.2%	8.0%	<b>8.2%</b>	+0.2pt	—

# ● 事業の状況

(単位：億円)

	17年度 1Q	18年度 1Q	19年度 1Q	増減額	増減率
<b>契約実行高</b>	3,108	3,981	<b>3,372</b>	▲609	▲15%
リース・割賦	1,008	1,239	<b>1,823</b>	+584	+47%
ファイナンス	2,100	2,742	<b>1,549</b>	▲1,193	▲43%
その他	—	—	—	—	—

(単位：億円)

	18/3末	19/3末	19/6末	増減額	増減率
<b>営業資産残高</b>	16,830	20,214	<b>20,188</b>	▲26	▲0%
リース・割賦	11,222	13,061	<b>13,503</b>	+442	+3%
ファイナンス	5,569	7,090	<b>6,622</b>	▲468	▲7%
その他	39	63	<b>62</b>	▲1	▲1%

	17年度 1Q	18年度 1Q	19年度 1Q	増減
<b>差引利益率</b>	2.79%	2.83%	<b>2.87%</b>	+0.04pt

(注) 差引利益率 = 差引利益(年換算値) ÷ 営業資産(平均残高)

## POINT

### ■ 契約実行高は前年同期比15%減少

- ・「リース・割賦」は産業・工作機械、情報通信機器、輸送用機器を中心に実行高が着実に増加
- ・「ファイナンス」は短期の商流ファイナンス、および不動産ファイナンスが減少

### ■ 営業資産残高は前年度末比横ばいで推移

### ■ 差引利益率は引き続き上昇

# ● 契約実行高／リース・割賦セグメント

## 機種別契約実行高

## POINT

(単位：億円)

	17年度 1Q	18年度 1Q	19年度 1Q	増減額	増減率
産業・工作機械	246	324	<b>611</b>	+287	+89%
情報通信機器	195	148	<b>251</b>	+103	+70%
輸送用機器	118	137	<b>234</b>	+97	+70%
土木建設機械	89	90	<b>79</b>	▲11	▲12%
医療機器	48	48	<b>54</b>	+6	+12%
商業・サービス業用機器	72	116	<b>72</b>	▲44	▲38%
事務用機器	24	18	<b>22</b>	+4	+19%
その他	216	357	<b>500</b>	+143	+40%
内) 不動産	97	301	<b>441</b>	+140	+46%
合計	1,008	1,239	<b>1,823</b>	+584	+47%

■ 大口案件を捕捉

■ 設備投資ニーズを幅広く取り込み

■ 航空機オペレーティングリースが着実に増加

■ ブリッジ案件が増加

# ● 契約実行高／ファイナンスセグメント

## 契約実行高

(単位：億円)

### POINT

	17年度 1Q	18年度 1Q	19年度 1Q	増減額	増減率
商流ファイナンス・ 融 資 等	1,970	2,049	<b>1,423</b>	▲626	▲31%
航 空 機	58	64	<b>11</b>	▲53	▲83%
不 動 産	40	561	<b>88</b>	▲473	▲84%
船 舶	32	67	<b>28</b>	▲39	▲59%
合 計	2,100	2,742	<b>1,549</b>	▲1,193	▲43%

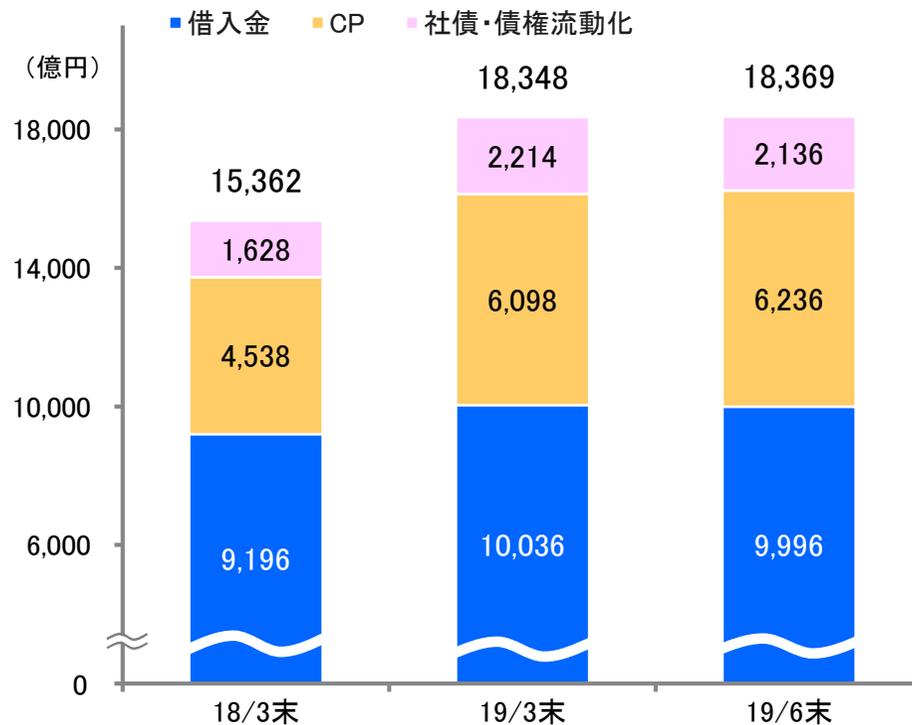
■ 短期の商流ファイナンスが減少

■ 前年同期は大口ブリッジ案件を  
実行

# ● 資金調達等の状況

- 有利子負債残高は前年度末比横ばい
- 資金原価率は、グローバルビジネスの伸長に伴う外貨借入の増加により上昇

## 有利子負債残高



## 資金原価(率)

	17年度 1Q	18年度 1Q	19年度 1Q
資金原価 (億円)	17	20	26
資金原価率	0.42%	0.46%	0.51%

(注) 資金原価率 = 資金原価(年換算値) ÷ 営業資産(平均残高)

## 外部格付けの状況

格付機関	格付	
R & I	長期	A
	短期	a - 1
J C R	長期	A
	短期	-

## ● 業績予想及び配当

- 親会社株主に帰属する当期純利益は、年度の利益計画に対して順調に進捗
- 2019年度の年間配当金は、前年度比2円増額の80円と18期連続で増配を予定

(単位：億円)

	2018年度 (実績) ①	2019年度 (予想) ②		増減額 ②-①	増減率 ②/①	
		1Q実績	進捗率			
売上高	3,849	<b>4,500</b>	<b>1,432</b>	<b>32%</b>	+651	+17%
営業利益	229	<b>242</b>	<b>55</b>	<b>23%</b>	+13	+6%
経常利益	242	<b>253</b>	<b>58</b>	<b>23%</b>	+11	+4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	166	<b>170</b>	<b>41</b>	<b>24%</b>	+4	+2%

年間配当金	78円	<b>80円</b>	<b>+2円</b>
中間配当金	38円	38円	±0円
期末配当金	40円	42円	+2円

配当性向	20.1%	<b>23.0%</b>
------	-------	--------------